



シンガポール最大の新造 LNG 燃料供給船を”Brassavola”と命名

シンガポール、2022 年 10 月 5 日 – 株式会社商船三井（社長：橋本剛、本社：東京都港区、以下「商船三井」）と Pavilion Energy Pte Ltd（読み：パビリオンエナジー、本社：シンガポール、以下「Pavilion Energy」）は 2022 年 10 月 4 日、Sembcorp Marine Ltd.（読み：センプコープマリン、本社：シンガポール、以下「Sembcorp Marine」）の造船所で新造 LNG 燃料供給船（以下「本船」）の命名式を執り行いました。シンガポール籍となる本船は、シンガポールの国花である蘭に因んで”Brassavola（読み：ブラッサボラ）”と名付けられ、2023 年に竣工する予定です。Brassavola は全長 116.50m、幅 22.0m、タンク容量 12,000m³ で、シンガポール国内で建造・運航される同種の船舶としては最大級です。



命名式の様子

本船は、商船三井の完全子会社である Indah Singa Maritime 社により保有され、Pavilion Energy の完全子会社である Pavilion LNG Bunker I 社により傭船されます。本船は主にシンガポール港での LNG 燃料供給に従事する予定です。また、Pavilion Energy との長期契約に基づき、TotalEnergies Marine Fuels 社も本船を利用し LNG 燃料供給を行います。

シンガポール海事港湾局（MPA）からは、アシスタント・チーフ・エグゼクティブ（オペレーション部門）である Capt M Segar 氏が命名式に出席し、「シンガポール港は海事産業の脱炭素化に向けた行程を支援するため、LNG 燃料供給拠点として機能強化を続けており、Brassavola が新たに LNG 燃料供給船船隊に加わることを楽しみにしています。」と述べました。

商船三井 取締役専務執行役員 松坂顕太は「本プロジェクトの関係者の皆様に心から感謝申し上げます。Brassavola は、シンガポールで建造された最初の LNG 燃料供給船です。LNG の燃料使用は GHG 排出量の削減に直結します。本船の船主として、従来の重油からの移行に貢献できることを大変光栄に思います。」と述べました。

Pavilion Energy のグループ最高経営責任者（CEO）である Alan Heng 氏は、「Brassavola の命名は、シンガポール港においてより環境に優しく、責任ある船舶の燃料供給手段を探求する我々にとって、喜ばしい一歩です。Brassavola は、シンガポールの海運業の脱炭素化において極めて重要な役割を果たし、顧客に、より高い柔軟性、効率性、透明性を提供します。国内で成長した世界的なエネルギー事業者として、私たちはシンガポールと共に歩み、次世代のために炭素排出量を削減しクリーンな未来を築くという IMO2030 の目標を達成します。」と述べました。

TotalEnergies Marine Fuels の副社長である Louise Tricoire 氏は、「本日、パートナー各社と共にこの歴史的瞬間に居合わせたこと、世界有数の燃料供給拠点且つ低炭素輸送の先駆者であるシンガポールにおける LNG 燃料供給サービスの開始に向けてさらに一歩前進できることを嬉しく思います。Brassavola は、私たちの顧客の脱炭素化に向けた取り組みを支援すると共に、持続可能な海事産業構築に向けたシンガポールの長期戦略に貢献するという TotalEnergies の決意を体現しています。私たちは、本船が来る運航開始の瞬間を迎え、シンガポール、ロッテルダム、マルセイユに寄港する LNG 燃料船に、さらに拡大したクリーンな船舶燃料供給網を提供することを心待ちにしています。」と述べました。

Sembcorp Marine の社長兼 CEO である Wong Weng Sun 氏は「Sembcorp Marine は、商船三井および Pavilion Energy と協力し、気候変動と脱炭素化に関するシンガポールの戦略、および 2050 年までに GHG 排出量を半減させるという IMO の戦略に貢献できることを嬉しく思います。このプロジェクトの実現は、Sembcorp Marine の持続可能性の精神、及び再生可能エネルギー産業に向けた当グループの多様化の方針と合致しています。」と述べました。

<問い合わせ先>

株式会社商船三井

コーポレートコミュニケーション部 メディア広報チーム

TEL: 03-3587-7015 / FAX: 03-3587-7705 / E-mail: mrtmo@molgroup.com

Pavilion Energy

Sylvia Yap

Head, Corporate Communications

+65 8939 9275

sylvia.yap@pavilionenergy.com

TotalEnergies Marine Fuels

Jason Knights

Director, Knights Media & Public Relations

M +44 (0)78 51 866 007 | E hello@knightsmpr.com

Sembcorp Marine

Ms Chua Mun Yuen

Head, Investor Relations and Corporate Communications

Tel No: +65 6971 7039

munyuen.chua@sembmarine.com

<会社概要>

株式会社商船三井

商船三井は日本に本社を置き、世界中で約 800 隻の船舶を運航する世界有数の海運会社です。当社は、環境保全など刻々と変化する社会のニーズに応えるため、海運を中心にさまざまな社会インフラ事業や技術・サービスを展開しています。当社の船隊には、乾式貨物船、LNG 船、Ro-Ro 船、自動車船、石油タンカーなどが含まれます。また従来の海運事業に加えて、不動産、ターミナルおよび物流、洋上風力発電、および関連事業等の社会インフラサービスも展開しています。

最大級の商船隊、130 年以上の歴史、経験、技術により、商船三井グループはすべてのステークホルダーに新しい価値を提供する、強靱でレジリエントな企業グループを目指しています。

HP URL : [商船三井 \(mol.co.jp\)](https://www.mol.co.jp)

Pavilion Energy

Pavilion Energy は Temasek の完全子会社です。シンガポールに本社を置く同社の国際エネルギー事業は、エネルギーにかかるヘッジや金融手段の提供と同様に、東南アジアとヨーロッパにおける天然ガスの供給とマーケティング活動に加え、LNG の国際的なトレーディング、輸送、裁定取引を網羅しています。同社はまた、海事産業向けの LNG 燃料供給技術を開発し、LNG バリューチェーンにおける GHG 排出削減とカーボンオフセットを促進する先駆者でもあります。Pavilion Energy は、最適な燃料としての LNG と天然ガスの提唱者として、来るべき世代のために、より持続可能な未来に向けてエネルギー移行の取り組みを推進しています。

HP URL : www.pavilionenergy.com.

TotalEnergys Marine Fuels

TotalEnergys Marine Fuels は 30 年以上の市場経験を持ち、世界中で燃料供給事業を展開する TotalEnergies の専門部門です。世界の海運業界の長期的なパートナーであり、ヨーロッパ、アジア太平洋、アフリカの 130 以上の港で 200 以上の顧客にサービスを提供しています。本社はシンガポールにあり、パリとジュネーブに 2 つのサテライト オフィスがあります。顧客が現在利用可能かつ最もクリーンな海洋燃料を利用できるよう、船用 LNG・バイオ LNG・バイオ燃料を供給すべく、重要な投資を戦略的な燃料供給拠点で行ってきました。また、様々な海事連合と組む業界横断的な研究開発イニシアチブで進行中の業務の一環として、海運の脱炭素化された将来の燃料生産の構想にも貢献しています。

Sembcorp Marine

Sembcorp Marine は、世界のオフショア・海洋・エネルギー産業に革新的なエンジニアリングソリューションを提供しています。シンガポールに本社を置く同社は、様々な種類の船の修理・アップグレード・改造と同様に、リグ・フローター・オフショアプラットフォームそして特殊船の設計と建造において 60 年近くの実績があります。同社が重点を置くのは、ガスバリューチェーン・再生可能エネルギー・高度な掘削リグ・海洋生物・海上保安にかかる課題の解決です。顧客には主要なエネルギー会社・浮体式生産設備の所有者・海運会社・クルーズおよびフェリーのオペレーターが含まれます。リグ&フローター、修理&アップグレード、オフショアプラットフォーム、特殊造船という同社の 4 つの営業ユニットが、顧客をサポートします。同社は、シンガポール、インドネシア、英国、ノルウェー、ブラジルに戦略的に配置された造船所やその他の施設を運営しています。

HP URL : <https://www.sembmarine.com/>